看護研究第8巻総目次

1975年(第1号～第4号)

焦点

清潔の看護に関する研究・1

臨床看護研究5

清潔の援助に関するわが国の研究……1(1)
中西 睦子
相馬 朝江
岡崎 節子
雨宮 悦子

座談会

清潔――その文化的背景と民族性を探る……15(1)
安斎 伸
野口 武徳
藤井 正雄
宮田 登

解 説

"患者"の持つ清潔さへの"望み"……30(1)
平井 富雄

座談会

看護における"清潔"の再検討……34(1)
川島みどり
安部 倫子
赤沢 利子
津田佳世子

清潔の看護に関する研究・2

資 料

清潔のケアの重要性についての患者と看護婦の認識……81(2)
松本 女里
津田佳世子

Conference・素材

バックカテーテルの清潔についての一考察……86(2)
村田 千寿ほか

Conference・素材をめぐって

看護も学際的な研究の一翼をになう……89(2)
内海 滉
登坂 有子
前原 澄子
赤沢 利子
小栗ひろみ

文献研究

わが国における新生児の身体の清潔に関する研究と考え方の動向……102(2)
川崎佳代子
伊藤 和子

姿勢・体位と看護に関する研究

臨床看護研究6

体位に関する援助についてのわが国の研究……161(3)
中西 睦子
相馬 朝江
岡崎 節子
雨宮 悦子

解 説

感情・気分と姿勢……171(3)
青木 和夫

体位と循環と呼吸……176(3)
井川 幸雄

座談会

体位をめぐる患者の要求と医療上の要求の接点……182(3)
増田 澄江

© IGAKU-SHOIN Ltd, 2013

2026/09/23 22:38:07

前川　清栄
溝口アツ子
高山　順子
氏家　幸子

人間関係と看護に関する研究

臨床看護研究 7
看護婦－患者関係に関するわが国の研究……237(4)
中西　睦子
雨宮　悦子

座談会
真の人間理解に必要なものは何か…………247(4)
川村佐和子
見藤　隆子
池田　節子
山口　絢子
木下　安子

Conference・素材
希望を与える看護――看護
情報工学からのアプローチ………………265(4)
高田　　淳

Conference・素材をめぐって
言葉の数量化と看護におけるその意義……284(4)
内海　　滉
芳賀　　純
藤原加恵子
高田　　淳
前原　澄子

研　究

看護学生の職業意識の形成に関する研究……46(1)
小島　禮子
口腔内細菌による食物汚染の研究
I．粉乳及び調合乳の細菌汚
染と保存による細菌増殖……………139(2)
木内　妙子
広末　明子
患者と看護婦の心理的構造の差異と
患者－看護婦関係――患者－看護婦
関係理解への一つの試み――……………145(2)
島内　　節
看護学生の病院実習と咽頭細菌叢の変化……319(4)
岡本　陽子
久芳美代子
沢江　義郎

海外論文

The Relationship Between Parents Health
Status and Body Image of their Children
両親の健康状態とその子供との関連性……200(3)
Marya Olgas
訳・内海　滉

Effect of Preoperative Visit
by Operating Room Nurses
手術室看護婦による術前訪問の効果……208(3)
Carol A. Lindeman
Steven L. Stetzer
訳・内海　滉

Increasing the Quality of Nursing by
Introducing the Concept of Primary
Nursing: A Model Project
プライマリー－ナーシングの概念の導入に
よる看護の質的向上について：モデル研究‥‥310(4)
Geraldene Felton
訳・内海　滉

抄読会
"覆刻版－実地看護法" をめぐって…………62(1)
高橋　政子
桑野タイ子
岡部喜美子
"看護婦であること" をめぐって…………222(3)
稲田　美和
杉森みど里
高橋　美智
"死ぬ瞬間" と "死ぬ瞬間の対話" をめぐって‥297(4)
小島　禮子
沼尻香代子
佐々木文子

看護研究相談室

仮説の立て方とその役割……………………78(1)
津田佳世子

*　　*　　*

看護研究セミナー収録

看護研究方法論……………………………120(2)
臨床研究の問題点…………………………130(2)
講演・Dr. Jeanne Quint Benoliel

2026/09/23 22:38:07

The Japanese Journal of Nursing Research Vol. 9, No. 1 (Winter 1976)

IGAKU SHOIN LTD.

CONTENTS

A Special Edition "On Safety"

Study ; A Review of Studies of Environmental Safety for Patients in Japan 1
Mutsuko Nakanishi/Etsuko Amamiya

Discussion ; What is Safety in Nursing 12
Kazutaka Kogi/Satako Hayashi/Midori Kawashima/
Takako Okuyama/Mariko Kato/Kayoko Tsuda

Book Review by Discussion

On "Concept Formalization in Nursing Process and Product"
by The Nursing Development Conference Group 39
Kyoko Hatano/Ayako Kabeshima/Toki Onodera

Translation of Article from Abroad

The Efficacy of Group Therapy by Nurses for Hospitalized Patients 31
Margaret T. Beard/Patsy Y. Scott
Translation by Ko Utsumi

Study

An Attempt of an Analysis of Verbal Approach of Public Health Nursing on the Linguistical View Point 54
Satoshi Ariumi

⚜ 編集後記

▷たいへんおそくなりましたが，9巻1号をおとどけします。2巻以後いささか鈍足ではありますが，挽回するよう頑張っておりますので，なにとぞお許しください。

▷安全性というテーマは，永遠に論じられるものだと思います。なぜなら，まったく安全という世界は"人間"を不安全にするという矛盾の中にこのテーマは存在するからです。

▷実験室の中でみた"ねずみ"はまったく危険のない状態で飼育されていました。このねずみは至極のんびり屋で，小生の目には，もはやねずみであることすら放棄しているようにみえたのでした。(H)

▷喫煙を常習とされている方々にとって，ケムリはまことに快適な，心なごむもののようです。"紫煙"という優雅（?）な名称を与えて，心ゆくまでケムリを愛好しておられます。ところで，喫煙常習者にとって非喫煙者は存在しないかのごとく，人混みであれ狭い事務室であれ，平然とケムリを吹き上げておられます。非喫煙者にとって，ケムリが，その臭いが，どんなにつらく，心にくいものであるか等，考えられないことのようです。

一口に"相手の立場に立つ"と申しますが，これはなかなか難しいことのようで‥‥。舌禍，ごめんなさい。(N)

▷今号から"看護研究"の編集室に仲間入りをいたしました。よろしくお願いいたします。(M)

◆**訂正**：本誌8巻4号の総目次に誤りがありますので，深くおわびすると共に，下記のように訂正させていただきます。

88ページ"海外論文"の項11行目　訳・内海　滉──→訳・鵜沢陽子

編集担当：土方・西村・楠・森谷

2026/09/23 22:38:07